

平成26年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業 地域日本語教育実践プログラムA

団体名:特定非営利活動法人 フィリピノナガイサ

の子どもに対する

教育支援事業

Nagkaisaとは、「ひとつになる」という意味です。

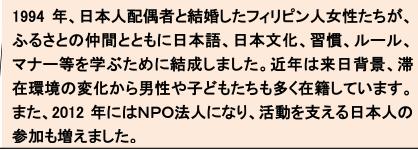


フィリピンの文化紹 介や国際交流に関す

目指しています。

を促し、自立・共生社会実現を

る事業



特定非営利活動法人フィリピノナガイサ

ホームページ http://filipinonagkaisa.org/メール filipinonagkaisa@yahoo.co.jp 080-4308-8380(タガログ語) 090-9175-8380(日本語)

平成 26年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業 地域日本語教育実践プログラム A



事業実施概要

alla =_ ==	子未入川山州以
事業名称	バヤニハン日本語教室 ~みんなで地域をつくっていこう~
地域の課題	静岡県西部地区のフィリピン人は増加しているが、日本の言語、習慣、ルール等がわから
	ず日本社会との接点が希薄な人がいる。また、「自信がない」という理由から日本人とコミュ
	ニケーションをとることができないという人もいる。
事業の目的	① 自立支援
	② 地域との連携…日本人ボランティアの参加呼びかけ/行政、企業等へ講師派遣を依頼
	し、交流を深める。(理解者の裾野を広げる)
	③ 教室運営能力を高める…バイリンガル指導者による特色ある日本語教室を運営する。
事業の概要	日本語教育の実施
	名称: バヤニハン日本語教室 ~みんなで地域をつくっていこう~
	目的: フィリピン人と日本人の相互理解を深め、在住フィリピン人の自立を促進する。
	対象:日本語レベル入門・初級の「生活者としての」フィリピン人
	人数:87人(主な出身・国籍:フィリピン)/時間:70.5時間(全30回)
	内容: 行政や企業、ボランティアの協力を得て、日本語と生活情報を組み合わせて教授する。
	日本語教育を行う人材の養成・研修の実施
	名称: バイリンガル指導者・日本語ボランティア養成講座~みんなで地域をつくっていこう~
	 目的: 「協働」の視点から、地域の課題にあった日本語教室が運営できる人材を育成する。
	対象:①バイリンガル指導者とそれを目指す者 ②日本人住民
	時間: 33 時間(全 12 回)/人数:66 人(出身・国籍:フィリピン、日本、ペルー)
	内容:国、地方行政の動向を積極的に取り入れる。
	日本語教育のための学習教材の作成
	名称: バヤニハン日本語教室~みんなで地域をつくっていこう~オリジナル教材
	目的: 生活に必要な日本語を厳選、日本語学習の入口としての機能を持った教材を作成する。
	対象:静岡県西部地区に暮らす日本語レベル入門、初級の「生活者としての」フィリピン人
	構成:本事業の日本語教室で取り扱うテーマに沿って、学習教材を作成した。
成果と課題	成果:フィリピン人と日本人スタッフが協働し、①「母語によるニーズ把握」②「得られた
	ニーズから、"日本社会と接点を作る"という視点でカリキュラムを組む」③「活動の発信」
	④「活動から見えてきた課題の発信(人材育成事業へ発展)」⑤「改善」を続けて6年目にな
	る。多くの関係諸機関やボランティアと連携を深めることができた。 今後の課題: 当地域
	のフィリピン人は若年層の入国が微増しており、中年層においては永住、定住傾向にある。
	若年層には日本社会で安定して暮らすための情報提供、進路相談が、そして中年層には「ど
	こで余生を過ごすか」、「老後に必要な備えは何か」を考える場の提供が必要である。
発表者から 一言	学習者(工場勤務の日本語能力初級者が多い)のニーズより、26年度は「税金(国税と地
	方税の回を分けて)」「労働者の権利と義務」「社会保険の仕組み」「工場ライン業務でよくあ
	る困った事例の解決方法」等を学びました。毎回授業後、学習者にアンケートを行いました
	が、得られた回答から読み取れる「真のニーズ」をお話いたします。さらに「学習ニーズを
	地域の連携に結びつけて運営すること」から期待している展望についても発表します。